



日頃、みなさんは映画を観ますか。その中で、俳優のトム・クルーズさんが出演している作品や、スティーブン・スピルバーグ監督の作品など観たことがある方もいるかもしれません。どちらもハリウッドで活躍されている有名な方ですが、ディスレクシア（読字障害）を公表したことで知られています。ディスレクシア（読字障害）とは、知的能力及び一般的な学習能力にとくに異常がないにもかかわらず、書かれた文字を読むことができない、読めてもその意味が分からないなどの症状をいいます。今回は、ディスレクシアなどといった、学習障害（限局性学習症/障害）について紹介していきます。



◇学習障害（限局性学習症/障害）とは（SLD: Specific Learning Disorder）

（1）文部科学省による定義（1999年）

学習障害とは、基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す状態を示すものである。

学習障害は、その原因として、中枢神経系に何らかの機能障害があると推定されるが、視覚障害、聴覚障害、知的障害、情緒障害などの障害や、環境的な要因が直接の原因となるものではない。

基本的な特性は、知能全般は正常であっても、「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」「推論する」という六つの能力のうち、一つ以上の習得や使用に障害があることです。その特性は同じように現れるのではなく、人それぞれに違い本人の努力ではどうしようもありません。また、ほかの発達障害と併存している場合もあります。

※DSM-5（米国の精神疾患の診断・統計マニュアル第5版）では、限局性学習症/障害という用語を使用しています。

（2）よく見られるつまずきや特徴

「読む」こと、「書く」ことに困難がある

- 文章をたどたどしく読む、漢字の読み書きが習得できない。
- 書くのが遅く文字の形が整わない。
- 作文を書くのに大変苦労する。



「聞く」こと、「話す」ことに困難がある

- 個別にいうと理解できるが、集団場面では聞き取れていない。
- 指示の聞きもらしが多い。
- 語彙が少ない。
- 人に分かるように伝えることができない。



「計算をする」こと、「推論する」ことに困難がある

- 繰り上がりや繰り下がり計算につまずく。
- 文章題を解くのが困難である。
- 図形の模写や形の分解・構成が困難である。
- 時間や空間の概念が理解できない。



学習を進めるときの基本的な考え方

- ①学習内容のスモールステップ化を図る
- ②学習の速度に配慮する
- ③繰り返し指導する
- ④フィードバックする



一人一人に
応じた手立てを
考えていくこと
が大切です！

LDのある子どもが自立して生活していくためにはどのような支援が必要ですか？



LDのある子どもが自立して生活していくために欠かせないことは、「**自分の特性を正しく理解する**」ということです。健常者であるか障害者であるかに限らず、「自立」して生きているという状況は、「ひとりで生きている」「ひとりで生きていく」ことではありません。人間は社会的な存在ですから、そもそも他からの支援をまったく必要としないで生きられる人はいないのです。

ですから、自立して生きるためには、自分の特性を理解し、困難に直面したとき、自分が必要とする支援を他から求める力が備わっているかがポイントになります。本人と周囲が、どのような困難があり、どんな場面で困っているかを把握し、それに応じた支援を考え出すことが重要なのです。

そのためには、子ども自身が「自分にはどのような支援が必要か」を分かっている必要があります。小さな頃から子どもが自分の特性を理解して、困難をクリアするために必要な手段や方法を保護者や教師と共に考え体験して、どんな支援が自分にとって必要なのかを考えさせる習慣をつけることが重要です。

新版子どもの発達障害辞典（合同出版）より

書くことに困難があれば・・・

- ・パソコンや携帯電話、タブレット端末やスマートフォンを活用する。



聞くことに困難があれば・・・

- ・書かれた文字をデジタルカメラで記録して画像として伝達してもらう。
- ・あらかじめ要点を書いたプリントを準備してもらう。



時間の理解に困難があれば・・・

- ・タイムタイマー、デジタル時計を活用する。



残り時間を表示するタイマー

「タイムタイマー」

（アクセスインターナショナル株式会社）



12月の相談件数について

■ 電話相談 9件 ■ 訪問相談 3件 ■ 学校見学 1件

そよかぜ相談では、発達や就学に関する相談を受け付けております。お電話にてお申し込みください。

